



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	永沼 淳子		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	2305	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E 〔学識・専門技能〕 専門分野に関する理論知と実践知を獲得し実践することができる。 DP3-G 〔状況把握力・判断力〕 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-I 〔理解力・分析力〕 文書表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L 〔協働力・牽引力〕 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M 〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能(40%) G1 状況把握(10%) I1 理解・分析と読解(10%) K2 オーラル・コミュニケーション(15%) L1 チームワーク(20%) M1 統合的・応用的学修(5%)		
教員の実務経験	特にありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対比 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養います。ここでは、問題意識を確立し、卒業論文につながる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知識を獲得することを目指します。授業は、演習により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 ■キーワード 民法・日常生活の危険・判例研究		
授業の趣旨	■副題 民法(財産法・家族法)の判例研究をグループワークと個人ワークで行います。		

	■授業の目的 民法(財産法・家族法)の判例研究から発展的な知識を修得することで、法を用いた問題解決方法を学びながら、グループでの活動を通して協働の責任感と、個人ワークでの活動から遂行力を育てることを目的とします。 ■授業のポイント 現行民法は、明治31年に制定され、120年余が経過しています。120年の間に民法の適用範囲である個人の経済活動や家族関係は大きく変化しているため、公平な判断をするための工夫として、新たな学説や判例変更で対応しながら、平成29年に債権法が大改正されました。以上のような理由により、判例を研究することは、実際の社会を知ることであり、また残された課題から未来を知ることにもなります。判例を読み解くことで、民法の様々な制度の基礎知識を学びながら、研究に必要とされる文献収集の手法を身につけ、自らの興味にそった卒論のテーマを決定することになります。								
総合到達目標	一般総合目標【GIO】 法を用いた紛争解決方法を修得するために、民法(財産法・家族法)に関する判例研究から発展的な知識を理解する。また、他者と協働する際の責任感を身につけるために、調査・資料作成・報告の過程に積極的に参加することで、グループワークでの役割を果たすことができる。 個別行動目標【SBOs】 1.民法(財産法・家族法)の判例研究を行うことで、民法の発展的な知識を説明することができる。(第2回から第15回) 2.判例研究に必要な文献収集と文書作成をする過程で、論理的思考と批判的思考が身につく。(第2回から第15回) 3.グループワークで協力しながら結果を出す過程で、社会で必要とされる態度や対応が身につく。(第2回から第15回) 4.書籍・データベースから関係する資料を調査・収集できる。(第2回から第15回)								
成績評価方法	■個人またはグループワークでの判例研究に関する報告内容(50%) 適用ルーブリックE1・K1・K2・L1 (評価の観点)判例の事案を理解したうえで、問題点の解決方法を適切な言葉で理論的に説明できるかを評価します。 (フィードバックの方法)報告を聞いたうえで、次回へのアドバイスをします。 ■個人または他のグループの報告に対し、有益な質問をするなどの参加度(50%) 適用ルーブリックE1・H2・K1・L1 (評価の観点)法的問題点を理解し、批判的思考による考察の結果を理論的に説明できるかを評価します。 (フィードバックの方法)質問に対する解説を行います。								
履修条件	特にありません。								
履修上の注意点	特にありません。								
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス(全体のテーマ、授業の進め方、成績評価の説明、グループ分け) ②授業概要 授業のテーマ内容、スケジュール、成績評価について確認した後、グループ分けをする(E1)(G1)。文献収集のために電子ジャーナルによる検索ができるようになる(K2)。 ③予習(120分) シラバスを確認し、最高裁判所HP・トップページの「裁判の手続き案内」バナーを開き、すべての項目を読む。 ④復習(120分) 授業中に説明を受けたポータルサイトの電子ジャーナルを検索し、「最高裁判所大法廷平成25年9月4日決定」の全文を読む。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究対象の判例を選択する ②授業概要 個人またはグループごとに研究する判例を選択し、次回以降の報告について検討する(B1)(G1)(L1)。電子ジャーナルや書籍を利用し文献を収集することができる(E1)(I1)。 ③予習(120分) 授業中に説明を受けたポータルサイトの電子ジャーナルを検索し、「最高裁判所第三小法廷平成29年4月27日決定」の全文を読む。 ④復習(120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 報告と文献収集 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス(全体のテーマ、授業の進め方、成績評価の説明、グループ分け) ②授業概要 授業のテーマ内容、スケジュール、成績評価について確認した後、グループ分けをする(E1)(G1)。文献収集のために電子ジャーナルによる検索ができるようになる(K2)。 ③予習(120分) シラバスを確認し、最高裁判所HP・トップページの「裁判の手続き案内」バナーを開き、すべての項目を読む。 ④復習(120分) 授業中に説明を受けたポータルサイトの電子ジャーナルを検索し、「最高裁判所大法廷平成25年9月4日決定」の全文を読む。	2	①授業テーマ 研究対象の判例を選択する ②授業概要 個人またはグループごとに研究する判例を選択し、次回以降の報告について検討する(B1)(G1)(L1)。電子ジャーナルや書籍を利用し文献を収集することができる(E1)(I1)。 ③予習(120分) 授業中に説明を受けたポータルサイトの電子ジャーナルを検索し、「最高裁判所第三小法廷平成29年4月27日決定」の全文を読む。 ④復習(120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。	3	①授業テーマ 報告と文献収集
回	内容								
1	①授業テーマ ガイダンス(全体のテーマ、授業の進め方、成績評価の説明、グループ分け) ②授業概要 授業のテーマ内容、スケジュール、成績評価について確認した後、グループ分けをする(E1)(G1)。文献収集のために電子ジャーナルによる検索ができるようになる(K2)。 ③予習(120分) シラバスを確認し、最高裁判所HP・トップページの「裁判の手続き案内」バナーを開き、すべての項目を読む。 ④復習(120分) 授業中に説明を受けたポータルサイトの電子ジャーナルを検索し、「最高裁判所大法廷平成25年9月4日決定」の全文を読む。								
2	①授業テーマ 研究対象の判例を選択する ②授業概要 個人またはグループごとに研究する判例を選択し、次回以降の報告について検討する(B1)(G1)(L1)。電子ジャーナルや書籍を利用し文献を収集することができる(E1)(I1)。 ③予習(120分) 授業中に説明を受けたポータルサイトの電子ジャーナルを検索し、「最高裁判所第三小法廷平成29年4月27日決定」の全文を読む。 ④復習(120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。								
3	①授業テーマ 報告と文献収集								

	②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
4	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
5	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
6	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
7	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
8	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
9	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。

	10	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
	11	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
	12	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
	13	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
	14	①授業テーマ 報告と文献収集 ②授業概要 レジュメ等の資料を配布した報告(E1)(G1)(L1)と、それに対する質問に答える(I1)(K2)。次回報告のために文献収集ができる(E1)(I1)。 ③予習 (120分) ポータルサイトの電子ジャーナルで担当判例について検索する。 ④復習 (120分) 授業中に収集した判例の資料を整理し、データ等にまとめる。
	15	①授業テーマ まとめ ②授業概要 個人またはグループごとに報告から学修したことについて、検討し発表することができる(E1)(I1)(M1)。 ③予習 (120分) 報告に対する質問や指摘の論点を整理する。 ④復習 (120分) 担当した判例の報告資料と他のグループの報告資料に目を通し、論点を整理する。
関連科目	生活安全と法(RMGT1401)・民事法Ⅰ(RMGT2341)・民事法Ⅱ(RMGT2342)・民事法Ⅲ(RMGT2343)と危機管理基礎演習(RMGT2601)と関連します。	
教科書	特に指定しません。必要な資料は適宜配布します。	
参考書・参考URL	ゼミナール内で適宜指示します。	
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 第1回講義(ガイダンス)でお知らせします。 ■オフィスアワー 第1回講義(ガイダンス)でお知らせします。それ以外の時間帯を希望する場	

	合は、事前にメール等で予約をすることにより対応します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント 70%:パブリックセキュリティ 10%:グローバルセキュリティ 10%:情報セキュリティ 10% ■危機管理学と法学とのバランス 危機管理学 20%:法学 80%

